

第26期 事業報告書

自 平成31年4月1日～ 至 令和 2年3月31日

1. 業績等の概要

第26期の(株)エフエム新津は、

- ①新潟市の外郭団体評価の改善事項に基づき、収益向上計画及び中短期計画(3か年)の策定を平成31年3月に行い計画に基づき初年度を実施した。当初の計画では、地球温暖化事業補助金の実施を計画していたが採択にはならなかったため、計画を変更せざるを得なくなった。
- ②秋葉区近隣地域(阿賀野市、五泉市、南区等)への浸透を図るため、営業活動を行った。阿賀野市、五泉市の一部の営業活動は浸透したが、南区は浸透が足りなかった。
- ④事務局体制も放送部門の職員が退職して、業務の停滞もあったが職員の努力もあり業績も維持でき以上、業績の向上に努めた結果、当期は多少の利益が計上された。

地域経済は、新型コロナウイルス対策もあり不透明ですが、第27期は、推進体制を再構築し、新中短期計画に基づき一層の収支の改善を図りたい。

今後とも株主各位のさらなるご理解とご支援をお願い申し上げます。

2. 営業成績及び財産の状況の推移(22期以降は税抜き処理)

区分 \ 年度	27 (22期)	28 (23期)	29 (24期)	30 (25期)	31 (26期)
営業収入(千円)	41,992	39,899	41,629	44,337	39,165
当期利益(千円)	△5,476	△3,288	902	1,924	249
1株当たりの当期利益(円)	△4,148	△2,491	683	1,480	188
総資産(千円)	39,360	37,376	39,299	39,914	38,527